9月28日 ラッピングカーデザインに向けて！

町は公用車にラッピングを施すため、大垣女子短期大学の学生にデザインを依頼しました。そこで町のイメージをつかんでもらうため、町職員がデザイン美術学科の学生9名を町内各所に案内しました。また、日吉神社では観光ボランティアガイドの会によるガイドを、切りバラの生産についてバラ生産組合の戸川剛会長より説明を聞きました。

参加した学生は「町内各所を巡って町のいきいきした魅力が伝わり、デザインする上で参考になった」と話しました。ラッピングカーは3月にお披露目予定です。

10月2日 家庭排水の環境への影響を学ぶ

県大垣土木事務所による「川について学ぶ」授業が南平野小学校で行われ、3年生の20名が受講しました。

児童たちは、薬品の色で水質を調べる「パックテスト」を使って川の水やジュース、墨汁、絵の具などを検査し、家庭排水が河川環境にもたらす影響と川にすむ魚の生態について学びました。

授業に参加した児童は「少しの水の汚れでも魚が住めなくなることが分かった。汚れた水を流さないようにして、川や池を大切にしたい」と話しました。

10月2日 サッカーを楽しく！FC岐阜　おじゃましマッスル開講

神戸幼児園でFC岐阜スクールコーチによる巡回サッカー教室「FC岐阜おじゃましマッスル」が行われました。

まず、ボールに慣れるために、ボールを投げ、左右の足で交互にタッチすることからスタート。その後、ミニゲームに挑戦し、ボールを元気いっぱいに追いかけてキックしたり、シュートを阻止するためにゴールを守りました。園児たちは終始歓声を上げながらサッカーを満喫しました。

10月7日 ひと針に想いを込めて

神戸町赤十字奉仕団は、町内の介護施設や子育て支援センター、社会福祉協議会など6施設へ手作りの雑巾608枚を寄贈しました。今年は、新型コロナの影響で定期的に行っているボランティア活動ができないため、何かできることはないか、という想いから雑巾を寄贈することとなりました。

早崎妙子委員長は「団員約170名がひと針ひと針心を込めて作りました。皆さんの役に立てれば」と話され、雑巾を受け取ったりんどう（北一色）の職員は「利用者のみなさんと大切に使います」と感謝の言葉を述べられました。

10月12日 みんなで備えよう、防災講座！

神戸小学校で、町の防災担当職員による防災講座が開催され、4年生約60人が受講しました。

児童は、体育館で段ボールベッドの設置作業を体験した後に、簡易トイレや間仕切りなどの使い方についての話を聞きました。風水害対策についての説明もあり、9月に改訂された洪水ハザードマップの見方も学びました。

参加した児童は「洪水が起きた時の避難する場所が分かった。今日知ったことを家族にも教えたい」と話しました。

10月17日 神戸町最高齢者へ長寿を祝い花束を贈呈！

町内最高齢者で108歳の清水なみさん（西保）に、西保区から長寿を祝うバラの花束が贈られました。清水さんは戦前から保育士として活躍しておられ、池田町の保育園では園長も務められました。現在でも折り紙で貼り絵を創作されており、長寿の秘訣は3食しっかり食べることだそうです。

今年は新型コロナの影響で、毎年開催されている同区の敬老会が中止となったため、区長の清水勝行さんらが米寿を迎えた5名と最高齢者の清水さんの自宅を訪れました。区長が花束を渡すと「こんな綺麗なバラをもらえてとてもうれしいです」と笑顔で話されました。